

静岡分苑だより

2023 春号・

春季大祭特別号



(上) 静岡分苑 (2023年4月1日撮影)

天津日を 衣笠にして 咲きいでし
木の花桜 春と二ことはに
出口直日

教主さま、親教によせて

当日は小雨の中このはなざくらをご観賞、「二」は名所になりますよ、皆が見に来るようになりますよ」とお言葉を賜りました。前日には、富士宮の富士山本宮浅間大社に正式参拝、甲田吉孝宮司とご面談されました。湧く玉の泉や流鏑馬会場の桜を和傘を差してご観賞されました。

祭典後諸行事の中に予定されていなかつたご挨拶を賜りました。「静岡分苑が立ち上がってから早く来たいと思つていました、清々しい祭典でした、雨もまた良し、これはなざくらも水分を沢山吸収し、大きく育つために大切です。今年令和五年は、五六七の始まりの年です、その最初のご親教が静岡分苑です」とご挨拶を賜りました。

ご面会では子供たちを教主さまの周りに座らせていました。奉納も大変お喜びでした。直会も手作りのお弁当で「静岡の味が凝縮されていますね」とお言葉をいただきました。お帰りの際には、このはなざくらをもう一度観賞されながら新富士駅へとお立ちになられました。

(文・谷田新樹)

青年部よりお知らせ



前

後ろ

ご親教にて青年部が作成したTシャツを、ご好評につき販売させていただきます。表は茶畑・富士山、裏は富士山・桜と「ふじのくに 静岡」を意味するエスペラント語がデザインされています。

・大人の方：金額1800円から

・青少年まで：1340円から

(※売上的一部分は青少年部活動に使わせていただきます。)

期限：6月30日まで

サイズ（子供100～160、大人S・M・L・XL）と枚数を青年部までお伝えください。

【宣伝部より】

6月25日に宣伝使研修会を開催いたします。

講師：前田茂太特派宣伝使

詳細は後日お知らせします。みなさまの参加をお待ちしております。 (駒形康信)

【編集後記】

ご親教が決まりましてから、大変たくさんの方々にご協力頂きました。また、前日・当日は雨模様でしたが、ご奉仕いただき本当に感謝しております。誌面上で御礼申し上げます。今後とも、和合してご神業に邁進して参りましょう。

令和5年4月6日

発行者 大本静岡分苑

〒421-3306

富士市中之郷小池下2353-1

谷田 新樹



除幕式

この度、教主さまに静岡分苑の看板のご染筆をお願い致しました。
祭典の前に、除幕式を行いました。



Saluton!

こんにちは

道の友垣



片山きよこさん
(かたやま きよこさん)
静岡市在住 93歳
静岡分所所属

片山さんは八十歳以上代表で、教主さまからお菓子を頂かれた。教主さまが手を握つてくださり、その時の感触がいつまでも忘れられない、毎日教主さまを神さまと思つています。と話される。

片山さんは、七人兄弟の四番目。父親がはじめに大本に入信。片山さんが物心ついた頃には、神さまが家にお祀りされていた。

娘時代は神さまをお祀りできる方とご縁があればと思っていたが、嫁入り先は他宗教。苦労が続き四十代頃、父親から大本の信仰を勧められる。

それから生活も良い方へ向かいご家族そろつて入信される。直心会の支部長をつとめられ、長生殿の献労にもよく参加され、静岡分苑が平成二十八年に新しく完成してから



奉納（八雲琴）

コロナ禍になる前まで、自転車で静岡駅に向かい電車で富士川駅へ。約15分かけて分苑まで歩き日直をつとめられた。また分苑の直会作りには今も進んでご奉仕される。

教主さまにこのはなざくらをご下付いただいたこと、今年がこのはなざくら発見七十年の佳節であることを記念して「木の花」を奉納させていただきました。

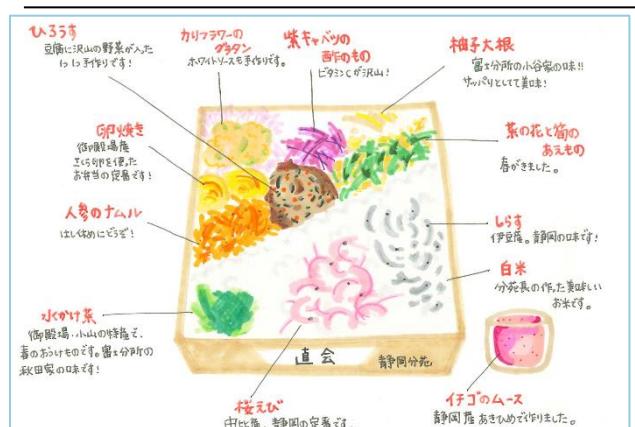
奉納の際は、ご親教に合わせて新調したおそろいのTシャツを着ました。小さなお子さんも、鈴やマラカスといった楽器で奉納に参加しました。

青少年部員二十三名で愛善歌「基本宣伝歌」の奉納をさせていただきました。



奉納（愛善歌）

「基本宣伝歌」



直会係チームでは、地元の食材を中心とした健康的な食材で手作りしました。包装紙のイラストも好評でした。おさがりとしてつけさせていただいたお菓子も手作りで、富士山と桜を形にした琥珀糖です。



祭典

祭員は、青年部、青松会を中心としたメンバー構成で稽古を続け、大祭にご奉仕させていただきました。



直会